

旅立ちと感謝の気持ちを胸に

日野中学校吹奏楽部 「桜薫るコンサート」



息の合った演奏は会場を魅了

日野中学校吹奏楽部が、地域の人や保護者への日ごろの感謝の気持ちを込め、3月22日、町文化センターで、桜薫るコンサートを開きました。

このコンサートは、卒業を迎えた3年生の最後のステージとして毎年行われています。

日野中学校吹奏楽部は、昨年度、鳥取県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、5年ぶりに中国大会へ出場するなどの活躍を見せました。多くの町民や保護者が見守る中、コーラスを含め11曲を披露し、会場全体に素晴らしい音色を響かせました。

3年生は「これからもみんなに響



涙をこられ、気持ちのこもった演奏を見せる

くような音楽を目指してください」「これまで協力してくれた地域の人には感謝しかない」と、目を潤ませながら後輩へエール、そして地域の人へ感謝の気持ちを表していました。

会場が優しい雰囲気にも包まれる中、最後に演奏された曲はEXILEの「道」。自分の未来をしっかりと歩んでいってほしいというメッセージが込められ、卒業式でも演奏された同曲は、1・2年生が3年生と演奏する最初で最後の曲となりました。感謝と別れを惜しみあふれる涙がほおを伝いながら、全員で奏でた音色はひととき大きな拍手を呼んでいました。

住み慣れた地域での暮らしを支えたい

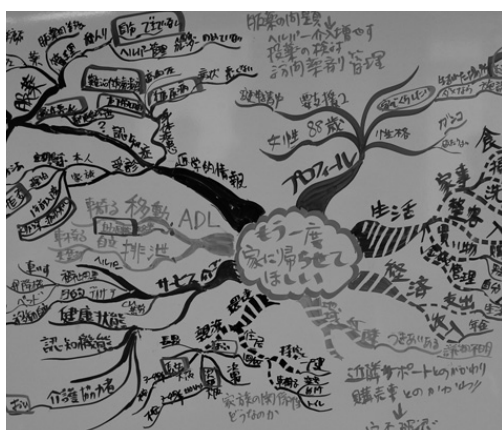
町内医療・介護専門職が解決法を学ぶ

町では、平成26年度から鳥取大学医学部と連携し、医療・福祉・保健・介護・生活支援が一体的に提供される仕組みづくりを進めています。

その事業の一つとして「見える事例検討会」が、2月28日と3月1日の2日間、町山村開発センターで開催、同システムの中心となる町内の医療や介護事業所で働く専門職員が参加しました。

見える事例検討会とは、事例対象者の生活や経済、地域・親族とのかかわり、医学的情報など一つにまとめる『見え検マップ』を使い、

多職種で認知症など病気があっても住み慣れた地域で暮らすための支援方法を導き出すものです。関



さまざまな情報をまとめた「見え検マップ」



活発な議論が交わされました

係者だけではなく誰でも参加できることを特徴とし、困難事例や病院の退院に向けた会議で行われている、全国で注目されている取り組みです。鳥取県内では初めて開かれました。

今回の講座はその検討会の進行役の手法を学ぶものです。参加者は講師から目的やもたらされる効果などの講義を受けた後、実際に自分たちが進行役となり模擬検討会を体験しました。会場内は活発に意見が飛び交い熱気に包まれました。困難事例に解決の道筋が見えたときは参加者全員が効果を実感した様子でした。

この見える事例検討会を地域づくりに生かせるよう、参加者は定期的に手法を学んでいます。



緊張も解け、元気よく絵本を朗読



手遊びを披露すると、子どもたちは興味津々

自分たちだけのおはなし会に初挑戦 図書館ジュニアスタッフおはなし会

3月18日、町文化センター・ホワイエで、図書館ジュニアスタッフによるおはなし会が開かれました。

ジュニアスタッフは、学校の土曜日授業等関連事業として小中学生からスタッフを募集し、土曜日の午前中に町図書館の仕事をしたり、「おはなし会」などのイベントの企画運営を行ったりしています。今回の「おはなし会」では、ジュニアスタッフ9人が、プログラムの作成や飾り付けをはじめ、図書館スタッフも協力しながら子どもたちだけで準備などを進めてきました。

おはなし会では、一人や全員で、手遊びやわらべうた「ずくぼんじよ」「もちつき」、ブラックライト紙芝居「ソメコとオニ」などを披露しました。はじめは、緊張していた様子でしたが、来場した親子連れなどから大きな拍手が起ると笑顔を見せていました。

スタッフの子どもたちからは「小さい子もみんな聞いてくれてうれしかった」「次は司会に挑戦したい」といった声が聞かれ、次のおはなし会に向けての抱負を語っていました。

【日野町図書館 おすすめの1冊コーナー】

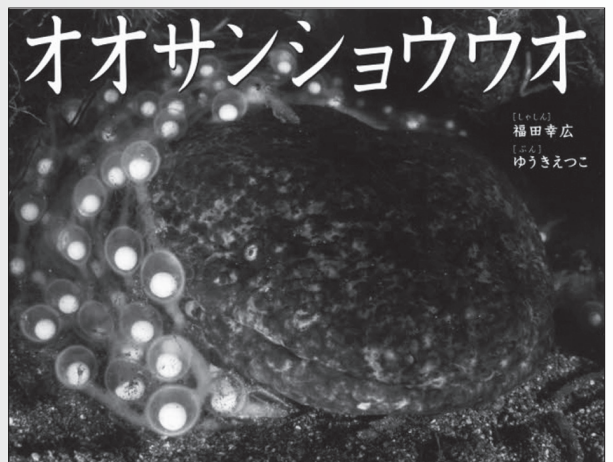
読んでみたらんかな〜

『オオサンショウウオ』

福田幸弘 写真・ゆうきえつこ 文 / そうえん社

「とてもいい本だったので、遠くの孫に買って送ってやりました」と、ある利用者の方が、喜んで返して下さったこの本「オオサンショウウオ」。日野川の源流に住む、生きた化石とも呼ばれる日本固有種で世界最大の両生類、オオサンショウウオ君が主人公の写真絵本です。

動物写真家の作者が、一年間「日南ハンザキ道場」に居候し、夜の日野川を歩いて巣穴を探し、季節の移り変わりの中でオオサンショウウオの成長を撮り続けた迫力のある写真とやさしい文章が、大人も子どもも感動に誘ってくれます。アップでみると、オオサンショウウオの大きな頭と小さな目がとてもかわいく、つい愛着を持ってしまいます。そして、読み進むうちに、子育ては、全部オスがするとか、80歳位長生きするらしいとか、まだ生態は解明されていないこの不思議な生き物のことを知ることができ、少し身近に感じられてきます。日野川的美しさがあるからこそ、住みつづけている彼らに、いつまでもこの自然を残していきたいものです。



(日野町図書館 松田 暢子)

P. S オオサンショウウオは「国指定の特別天然記念物」。時々、近くの川に迷い込んでくるオオサンショウウオを見つけたら、すぐに役場の文化財担当に連絡してくださいね。